



# 環境技術協会だより

2024年2月  
No.182

ヘッダーの写真：春の息吹（TT）

一般財団法人栃木県環境技術協会 329-1198 栃木県宇都宮市下岡本町 2145-13

<http://tochikankyou.com/> [tochikankyou.kanri-g@nifty.com](mailto:tochikankyou.kanri-g@nifty.com) 028-673-9080

## ■ 最新のヘッドスペースガスクロマトグラフ質量分析計を導入しました！

### この号の内容

- 1 最新のヘッドスペースガスクロマトグラフ質量分析計を導入しました
- 2 作業環境測定において一部規制が強化されます
- 3 令和5年度『技術講習会』を開催しました
- 4 「2050年カーボンニュートラル実現に向けて」のお知らせ

当協会では排水・地下水等の「揮発性有機化合物（以下、VOC）」分析のご依頼を承っております。また、当協会は「水道法第20条厚生労働大臣登録水質検査機関」でもあり、「水道法に基づく水質基準51項目（水質基準に関する省令平成15年5月30日厚生労働省令第101号）」の中のVOC項目（16項目）の分析も多くのお客様よりご依頼いただいております。

VOCは、常温常圧で大気中に容易に揮発する有機化合物の総称であり、代表的なものとして、塗料や接着剤、インクなどに含まれる溶剤等から揮発してくるトルエンやキシレン、また、金属や機器の洗浄に使われるトリクロロエチレン、ジクロロメタンなどがあります。



ヘッドスペースガスクロマトグラフ質量分析計



水素発生装置

VOCは、ヘッドスペースガスクロマトグラフ質量分析計を用いて分析をしております。従来の機器では、キャリアガスはヘリウムを使用することが多いですが、今回新たに導入した機器は、水素をキャリアガスとして用いることが可能な仕様となっており、水素発生装置で水素を供給しています。そのため、水素ボンベを用意することはありません。また、昨今、ヘリウムガス不足が世界規模で問題になっていますが、今回導入した機器であれば、ヘリウムガスの供給が止まったとしても問題なく分析が可能です。

VOC分析をお考えの際は、

お気軽に当協会へご相談ください。

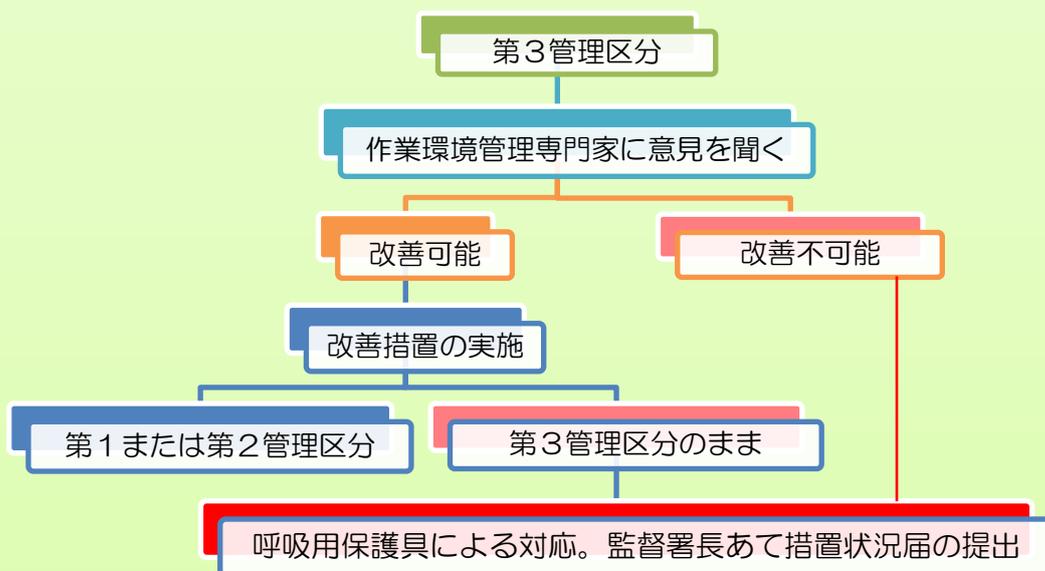
分析担当（028-673-9083）

## ■ 作業環境測定において一部規制が強化されます！

令和4年5月に公布された労働安全衛生規則の一部を改正する省令（令和4年厚生労働省令第91号）により、新たな化学物質管理が定められたところですが、その一環として、令和6年4月1日より、作業環境測定において第三管理区分と評価された作業場の規制が強化されます。

### 規制強化の概要

- 1 事業者は第3管理区分の作業場所について、作業環境管理専門家に『**改善の可否**（第1または第2管理区分への移行）』と改善可能である場合は『**改善方法**』について意見を聞かなければならない。
- 2 事業者は作業環境管理専門家の意見が『**改善可能**』である場合は、専門家の示した改善方法に基づく改善措置を講じなければならない。
- 3 事業者は2の改善措置の結果、なおも第3管理区分であった場合、若しくは1において作業環境管理専門家の意見が『**改善不可能**』であった場合は、個人サンプリング測定等の結果に基づき労働者に適切な呼吸用保護具を使用させ、呼吸用保護具が適切に装着されていることの確認（フィットテスト）を実施し、保護具着用管理責任者を選任しなければならない。
- 4 事業者は、3の措置を講じたときは、遅滞なく所轄労働基準監督署長に『**第3管理区分措置状況届**』を提出しなければならない。
- 5 事業者は、3の措置を講じた単位作業場所について、第1または第2管理区分と評価されるまでの間、6カ月以内に1回定期的に個人サンプリング測定等を実施し、1年以内に1回定期的にフィットテストを実施しなければならない。



概略のフローチャート

作業環境管理専門家養成講習の修了者(主催:公益社団法人日本作業環境測定協会)を含め、多数の『作業環境管理専門家』が在籍しております。

工学的方法や作業管理的方法による改善方法のご提案が可能です。

**改善方法のご提案は当協会にお任せください。**

**測定担当 (028-673-9081)**

## ■ 令和5年度『技術講習会』を開催しました

去る11月30日に、「水質分析方法の解説と分析の体験」と題し、4年ぶりに当協会主催の技術講習会を開催しました。

多数のご参加をいただき、大変ご好評をいただきました。

今回のプログラム	開催日	講習時間
水質分析方法の解説と分析の体験	令和5年11月30日(木)	13:30~16:30



- ・大腸菌群の計数
- ・培地撒きの体験

大腸菌群の体験の様子



- ・DO測定  
の体験

BODの体験の様子



環境計量士による解説の様子

### 参加者の声

- ・水質分析を、目で見て肌で感じる良い体験ができ、環境管理の一助にしたいと考えております
- ・大変親切・丁寧な説明に加え、実習ができてよかったです。
- ・社内教育の一環として良いと感じました。
- ・非常に参考になりました。本日はこのような場を開いていただきありがとうございました。

**今後も、お客様にご満足いただける技術講習会を開催したいと考えています。**

今年度の技術講習会の募集は終了しております。次年度以降の予定が決定次第、ホームページなどでお知らせいたします。

お問い合わせ 営業担当 (028-673-9082)

#### 一般財団法人栃木県環境技術協会

〒329-1198

栃木県宇都宮市下岡本町 2145-13

電話番号(代表) 028-673-9080

FAX 番号 028-673-9084

#### 電子メール

分析担当: tochikankyou.gijutu-b@nifty.com

測定担当: tochikankyou.gijutu-t@nifty.com

調査担当: tochikankyou.gijutu-c@nifty.com

営業担当: tochikankyou.kanri-g@nifty.com

総務担当: tochikankyou.kanri-S@nifty.com



#### 栃木県地球温暖化防止活動推進センター

〒329-1198

栃木県宇都宮市下岡本町 2145-13

電話番号 028-673-9101

FAX 番号 028-612-6611

電子メール stochi@tochieco.jp



環境保全ハンドブックやその他の情報も

 栃環境

でチェック!

## ■ 栃木県地球温暖化防止活動推進センターからのお知らせ

### 2050年カーボンニュートラル実現に向けて

#### ■ カーボンニュートラル実現に向けた経緯

##### ● パリ協定採択（2015年12月12日） > 翌年発行

- ・ 気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）において「**パリ協定**」が採択
- ・ 世界的な平均気温の上昇を、**産業革命以前に比べて2℃未満に保つ**、1.5℃以内に抑える努力を追求



- ・ **今世紀後半**には、人為的な温室効果ガス排出量を実質ゼロ（＝カーボンニュートラル）を目指す

##### ● カーボンニュートラル宣言（日本）（2020年10月26日）

- ・ 成長戦略の柱に「経済と環境の好循環」を掲げ、グリーン社会の実現に注力
- ・ **2050年までに**、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、即ち**カーボンニュートラル**、**脱炭素社会の実現**を目指す



##### ● カーボンニュートラル宣言（県）（2022年3月）

- ・ 「**2050年までにカーボンニュートラル実現を目指す**」ことを宣言
- ・ 目標達成に向けて必要な取組等を示す



「**2050年とちぎカーボンニュートラル実現に向けたロードマップ**」を策定

【出典】・ United Nations Framework Convention on Climate Change  
 ・ 首相官邸ホームページ  
 ・ 栃木県ホームページ

#### ■ 今日からできる CO<sub>2</sub> 削減の取組

LED 照明



再生可能エネルギーへの切り替え

テレワーク  
オンライン会議



PC 省エネ設定

クールビズ  
ウォームビズ

COOLBIZ  
WARMBIZ

空調温度設定

建物の ZEB 化

オフィス宅配受取



1回で受け取りませんか

エコカー利用



チョイス！エコカー

公共交通機関利用

「移動」を「エコ」に。



2050年とちぎカーボンニュートラル実現に向けたロードマップでは、**2050年温室効果ガス排出量“実質ゼロ”**に向けて、**2030年までは、既存の技術を最大限に活用して CO<sub>2</sub> を削減する工程表**となっています。

